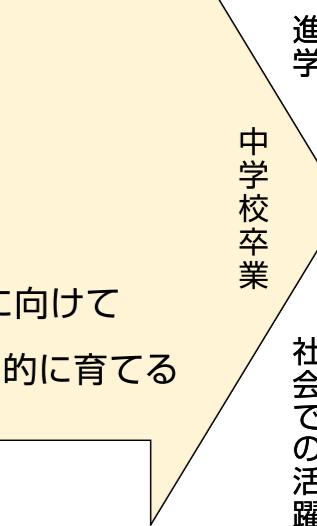


キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な能力等を育てる教育です。

「そんなことを言われても、中学校での実践は本当に必要なだろうか」——こうお考えになっている先生方もいらっしゃるかもしれません。けれども、キャリア教育が今日の中学生にとって重要なことを示す様々なデータは、すでに各種の調査によって得られています。その一部を本パンフレット10・11ページに掲載しましたので御覧下さい。

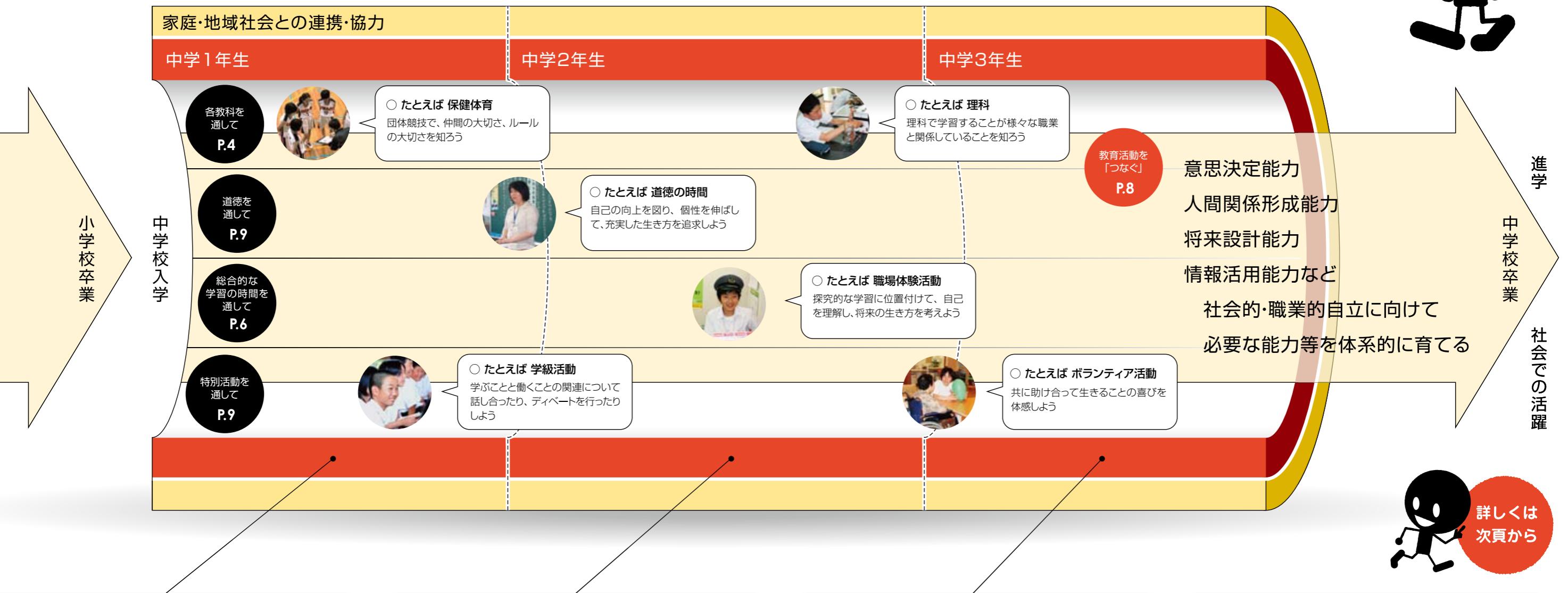
中学校には、生徒が今の自分を見つめ直したり、将来の自分の姿を思い描いたりする教育活動が数多くあります。これらをキャリア教育の視点からとらえ直し、わずかな工夫を加えるだけで、豊かなキャリア教育へと発展するケースは少なくないのです。

一人一人の中学生が、将来の進路と日々の教育活動の意義とを結び付け、自分と社会をつなぎながら、力強く未来を拓(ひら)く力を獲得できるよう、キャリア教育を一層推進させましょう。



詳しくは
次頁から

中学校におけるキャリア教育



1年生のキャリア発達の課題

- 自分の良さや個性が分かる。
- 自己と他者の違いに気付き、尊重しようとする。
- 集団の一員としての役割を理解し果たそうとする。
- 将来に対する漠然とした夢やあこがれを抱く。

2年生のキャリア発達の課題

- 自分の言動が、他者に及ぼす影響について理解する。
- 社会の一員としての自覚が芽生えるとともに社会や大人を客観的にとらえる。
- 将来への夢を達成する上で現実の問題に直面し、模索する。

3年生のキャリア発達の課題

- 自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進める。
- 社会の一員としての義務と責任を理解する。
- 将来設計を達成するための困難を理解し、それを克服する努力に向かう。

中学校におけるキャリア教育の目標

- 肯定的自己理解と自己有用感の獲得
- 興味・関心に基づく勤労観・職業観の形成
- 進路計画の立案と暫定的選択
- 生き方や進路に関する現実的探索